



量子が世界を変える

科学の100年と 未来への挑戦

令和7年

11月15日 12:30 ~ 17:35



会場 日本学術会議講堂・ハイブリッド
東京都港区六本木7-22-34 東京メトロ千代田線 乃木坂駅5番出口

申込方法 オンライン登録
<https://forms.gle/dhs5S2r8u4CmhX1w5>

量子力学誕生から100年を迎える2025年、物理学は素粒子から宇宙、計測技術、産業応用まで幅広く発展を遂げています。このシンポジウムでは、量子技術の最前線を紹介し、基礎科学が未来社会に果たす役割を考察します。また、基礎研究の重要性を広く共有し、次世代育成に向けた課題を参加者と共に議論します。物理学の可能性をわかりやすく伝え、未来を築く一歩となる場を目指します。

12:30 ~12:50 挨拶 趣旨説明

腰原 伸也 第三部会員 物理学委員会委員長 東京科学大学院 教授
光石 衛 日本学術会議会長 第三部会員 東京大学 名誉教授
宮下 精二 日本物理学会会長 東京大学 名誉教授

第1セッション

12:50 ~14:20 量子力学100年の軌跡と未来

司会 **網塚 浩** 連携会員 北海道大学大学院理学研究院 教授

伊藤 憲二 京都大学大学院文学研究科 教授
量子力学の誕生：
どのような世界がそれを引き起こし、どのように世界を変えたか

大竹 真紀子 岡山大学惑星物質研究所 教授
情報科学技術を用いた月探査ミッションデータの地質解析

中村 泰信 理化学研究所量子コンピュータ研究センター センター長
量子力学の世紀から量子情報科学の世紀へ

第2セッション

14:40 ~16:10 物理学の挑戦：知がつなぐ未来

司会 **山崎 祐司** 連携会員 神戸大学大学院理学研究科 教授

横山 将志 東京大学大学院理学系研究科 教授
地下から素粒子と宇宙をみる：ハイパーカミオカンデの挑戦

坂井 南美 連携会員 理化学研究所 主任研究員
電波で探る太陽系環境の起源：意図せぬ展開の重要性

梅垣 いづみ KEK 物質構造科学研究所 助教
大強度陽子加速器施設 J-PARC における
ミュオンビームの探究と応用

第3セッション

16:30 ~17:30 物理で描く未来の自分

司会 **浅井 歩** 連携会員 京都大学大学院理学研究科
附属天文台 准教授

モデレーター **森 初果** 第三部会員 東京大学物性研究所 教授

コメンテーター **奥村 幸子** 第三部幹事 日本女子大学理学部 教授

新永 浩子 連携会員 物理教育分科会委員長
鹿児島大学理工学研究科 准教授

17:30 ~17:35 閉会挨拶

櫻井 博儀 第三部会員・物理学委員会副委員長・理化学研究所
仁科加速器科学研究センター センター長

共催

一般社団法人日本物理学会
大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
京都大学基礎物理学研究所
東京大学宇宙線研究所
東京大学物性研究所
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所
大阪大学核物理研究センター
九州大学応用力学研究所
学術変革領域研究(A)「アシンメトリ量子」

後援

公益社団法人日本天文学会
大学共同利用機関法人自然科学研究機構核融合科学研究所
大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台